

京都府国際センター日本語教室
会話クラス

(H25. 3)

C クラス

第1回 新しい出会い

目標行動	初対面の人に自分の話ができる。 初対面の相手に対して失礼のないように質問することができる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① 教師の自己紹介	「初めまして。私は田中です。どうぞよろしくお願いします」 「では、みなさんの自己紹介をしてください。名前と職業と出身国を教えてください」	出会い 名前・職業・出身国
② 学習者の自己紹介	「初めまして。私はニッキーです。京都大学の研究員です。アメリカから来ました。どうぞよろしくお願いします」	研究員 (その他の職業)
③ 応用 立場の違う人との自己紹介 (敬語)	どういう立場の人と話すときに敬語を使うか 初めて訪問した会社の社長 仕事の面接に行った時 年上で地位のある人 聴衆の前で話す時 (スピーチなど) 「初めまして。私は田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします」	敬語
④ 教師から学習者に質問する	「初めて会った日本人からよくきかれることはありますか」 「いつ日本にきましたか」 「好きな日本の食べ物はなんですか」 「趣味はなんですか」 1) 学習者に「あなたなら何を聞きますか。」と質問して、出てきた意見を板書する。 例 好きな日本の言葉・好きな有名人・初めて食べた日本食・家族について・今までに行ったことのある国 2) 教師は、年齢や日本の習慣にない質問など不適切な意見に対してアドバイスする。	趣味 有名人

⑤ 互いのことを尋ね合う（会話練習）	1) 自分が他の学習者に聞きたい質問の内容を決める。 時間を決め、学習者同士できるだけ多くの人と話す。 2) 学習者は一人ずつ、誰とどんな内容で話したかを発表する。 3) 語彙・文法などを学習者と一緒に見直す。	
⑥ スピーチ	数字を書いたカードを人数分用意して、数字によって決められた話題について話す。 1) 数字カードを作る 2) 話題をホワイトボードに書く。学習者からの意見も取り入れて決める。 例 私の宝物・失敗談・私の自慢 3) 教師が1枚カードを引いて短い話をする。 4) 学習者は話について質問する。 5) 学習者が1枚ずつカードを引いて順番に話題について話す。 6) それぞれの話が終わったら質問をする。 7) 語彙・文法などを学習者と一緒に見直す。 8) 最後に全員の話聞いた感想を話し合う。	宝物・失敗談・自慢
読む・書く（漢字）	教室で使うネームプレート（名前・出身国）を日本語で書く	
文化庁カリキュラム 該当箇所	Ⅶ 人とかかわる	

C クラス

第2回 生活の中の文字情報

目標行動	文字情報から情報を得ることができる。（スキミング） わからないことを質問することができる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① 文字が読めなくて困った経験を話してもらう	「買い物をするとき、文字がわからなくて困ったことはありませんか」	
② 商品の表示を読む	食品のパッケージに書かれた種類・材料・産地・賞味期限などを読む。 「この文字はどういう意味ですか」 学習者の中でわかる人がいたら説明してもらう。 例1 ペットボトルのお茶： 緑茶・玄米茶・濃い味 例2 缶コーヒー： 無糖・微糖 例3 おにぎり： 梅・鮭・賞味期限・消費期限・加工日	種類・材料・産地・賞味期限 緑茶・玄米茶・濃い味 無糖・微糖 梅・鮭・消費期限・加工日
③ 地域のお知らせを読む	「お知らせ、回覧板などを受け取った時文字がわからなくて困ったことはありませんか。その時はどうしましたか」 誰かに尋ねる 「すみませんが、読むことができません。説明してもらえますか」 「この漢字がわかりません。教えてください」 「この言葉はどういう意味ですか」 『地震にそなえよう』（別紙） 実際に読んでみてわからない文字があった場合教師に尋ねる	回覧板 地震 非常用持ち出し品 必要最低限・非常食 貴重品・緊急医薬品 懐中電灯
④ グループ活動	旅行パンフレット・本を用意しておく ペアまたはグループに分かれて一日観光の計画を立てる。 行きたい場所・回るコース・交通手段・所要時間を考えて計画を立てる。	一日観光 交通手段・所要時間

⑤ 発表	1) グループまたはペアごとに発表する。 2) それぞれの発表が終わったら質問をする。 3) 語彙・文法などを教師と一緒に見直す。 4) 最後に全員の発表を聞いた感想を話し合う。	
読む・書く（漢字）	食品表示、地震に備えよう（別紙）、旅行パンフレットを読む	
文化庁カリキュラム 該当箇所	X情報を収集する	

地震に備えよう！

いざという時のために、非常用持ち出し品を必ず用意し、非常時持ち出し袋に入れ、寝室などすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

最低限そろえておきたいもの（一次持ち出し品）

家族構成を考え、必要最低限も品物を選びましょう

① 非常食・水（3日分）

② 貴重品

現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証、住民票など。

③ 救急医薬品

普段服用している常備薬があれば用意しておきましょう。

④ 懐中電灯（予備の電池も用意しておきましょう。）

⑤ 携帯ラジオ、携帯電話

情報収集や連絡手段として必要です。

⑥ その他

ヘルメット、衣類、ライター、軍手、ティッシュなど

災害後に備えるために（二次持ち出し品）

水、非常食、生活用品など

復旧や救助を待つ間、必要不可欠なのが二次持ち出し品です。少なくとも5日分は用意しましょう。

C クラス

第3回 街を探検

目標行動	地域の地理や店を調べることができる。 調べたことを発表し、みんなで情報を共有することができる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① 学習者の国の紹介	「京都にはたくさんお寺があります。東寺という寺では毎月21日に縁日があります。あなたの国にはどんな場所や店がありますか」 学習者に自分の国にある店や場所を話してもらう。 (きれいな、おもしろい、変わった、珍しい・・・)	探検 縁日
② 周辺地域の確認	教室の周辺地域について知っている情報を聞く。 「京都駅周辺に、何がありますか」 「ヨドバシカメラはどんな店ですか」	周辺
③ 質問の仕方を確認	店・看板・品物の写真を提示して、わからない時、どうやって質問をするか確認する。 「すみません、これは何ですか」 「ちょっと聞いてもいいですか」 「何をするものですか」 「どんな時に使いますか」 「どういう意味ですか」	看板
④ 屋外活動	学習者の人数によってペアまたはグループに分かれて地図を持って指定された地域を歩き、みんなに教えたい店・建物・石碑・看板などを調べてくる。 (家電量販店・コンビニなどは除く) わからない時は街の人もしくは教師に尋ねる。	石碑 家電量販店
⑤ 教室活動	調べてきた内容をペアまたはグループでまとめる。	
⑥ 発表	1) ペアまたはグループごとに調べたことを発表する。 2) それぞれの発表が終わったら質問をする。 3) 語彙・文法などを教師と一緒に見直す。 4) 最後に全員の発表を聞いた感想を話し合う。	
読む・書く(漢字)	店・看板の文字を読む	
文化庁カリキュラム 該当箇所	Ⅲ 消費活動を行う	

C クラス

第4回 京都観光

目標行動	公共の交通機関を利用して目的地に行くことができる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① 行ったことのある場所・移動手段について話す	公共機関を利用して外出した時、困ったこと、その時どうしたかなどの経験を学習者に話してもらう。	京都観光・利用方法 目的地
② 会話練習	「あなたの家から京都駅までどうやってきましたか」 交通手段・経路・運賃・時間・乗換などを話してもらう。 「どこから乗りましたか」 「どこで乗り替えましたか」 「いくらですか」 「どのくらい（時間）かかりますか」	交通手段 運賃 乗換
③ グループ活動	グループにわかれて、嵐山・大原三千院・比叡山・鞍馬寺の中からコースを考え、京都駅からの交通手段や時間を調べる。 「京都で行きたい所はどこですか」	
④ 発表	1) 調べた交通手段・経路・運賃・時間・乗換などを発表する。 「私たちは、嵐山への行き方を調べました」 2) それぞれの発表が終わったら質問をする。 3) 最後に全員の発表を聞いた感想を話し合う。	経路
読む・書く（漢字）	乗り場にある漢字表示を読む	
文化庁カリキュラム 該当箇所	IV 目的地に移動する	

C クラス

第5回 警察

目標行動	紛失・盗難にあった場合、隣人や近くの人に助けを求めることができる。 警察に届けられることができる。 警察官の質問や指示を理解できる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① 近くの人に知らせる	学習者ひとりずつ練習する。 「ちょっと、あの人を追いかけてください」 「どうしたんですか」 「かばんをとられたんです」	紛失・盗難 財布・警察
② 警察に電話する	学習者ひとりずつ練習する。 「何がありましたか。事件ですか。事故ですか」 「泥棒が入ったんです」 「いつですか」 「8時頃家に帰ったら鍵が壊れていたんです」 「なくなったものはありますか」 「はい。お金を盗られました」 「わかりました。あなたの名前と住所、電話番号を教えてください」	事故 泥棒 盗られました 名前・住所・電話番号
③ 警察に届ける	警察官（教師）の質問に答えて届け出票を作成する。 実際に教師が質問して記入する。 例1 自転車を盗られました。 例2 かばんを電車に忘れました。 例3 財布を拾いました。	忘れました 拾いました 届け出票
④ ロールプレイ	1) ロールプレイカードを使って話す。 2) 教室で発表する。 3) 語彙・文法などを教師と一緒に見直す。 4) 最後に全員のロールプレイを聞いた感想を話し合う。	
読む・書く（漢字）	（届け出票は警察官が記入するので読む・書くの必要はない）	
文化庁カリキュラム 該当箇所	I 健康・安全に暮らす	

A あなたは^{きょうとえき}京都駅で^{さいふ}財布をなくしました。でもいつ、どこでなくしたかよく
^{おぼ}覚えていません。^{けいさつ}警察に^{とど}届けて^{さが}探してもらいたいです。^{けいさつ}警察でどんな^{さいふ}財布か、
^{なか}中になにが^{はい}入っていたか、^{せつめい}説明してください。

B ^{さいふ}財布をなくした^{ひと}人が^{こま}困っています。^{さいふ}財布をみつけるために、いつ、どこで
なくしたか。どんな^{さいふ}財布だったか、^{なか}中には^{なに}何が^{はい}入っていたか^{くわ}詳しく^き聞いて^{くだ}下さ
い。もしみつかった^{とき}時は^{れんらく}連絡をするので^{れんらくさき}連絡先を^き聞きます。その^{とき}時は^と取りにく
るかどうするかも^き聞いてください。

C クラス

第6回 病院

目標行動	病気の症状を説明できる。 適切な医療機関を選択する。 病院や薬局での手続きや説明を理解できる。 適切な薬の使い方を理解できる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① 容態を伝えて助言を求める	教師が病気やけがをしたという設定で、症状を伝え、学習者に助言を求める。 「ひざが痛いんですが、どんな病院に行ったらいいですか」 「整形外科がいいと思います」 今までにかかった病気、怪我などを聞いて学習者と教師で会話練習をする。	病院・病気 症状：風邪をひいた・痛い・痒い 怪我：骨折・やけど・傷 体の部位名 整形外科
② 初診受付で手続きをする	1) 初診であることを伝える。 「あのう、初めてなんですが」 2) 保険証についての質問に答える。 「保険証はありますか」「はい」 3) 問診票の記載事項を理解する。 4) 問診票に住所・氏名・症状・などを記入する。 「ここには何を書くんですか」 「これはどういう意味ですか」	保険証 問診票
③ 診察を受ける	症状を伝える。 医者診察・指示が理解する。 「どうしましたか」 「昨日から頭が痛いんです」 「熱はありますか。熱を計ってください。」 「熱がありますね。風邪ですね。3日分の薬を出しておきます」 ①で出てきた病気などについて学習者同士で会話練習をする。	
④ 病気への対処法・生活上の注意などを質問する	「お風呂に入ってもいいですか」 「お酒を飲んでもいいですか」 「(怪我の場合) 包帯は毎日取り替えますか」 「次はいつきたらいいですか」	包帯

⑤ 医療機関で処方箋をもらい内容を確認する	「これは処方箋です」 「処方箋？」 「これを薬局に出すと薬が買えます」 「薬局はどこにありますか」 「薬局はこの病院の隣にあります」	処方箋 薬局
⑥ 薬局・薬店を利用する	1) 薬剤師の質問に答える。 「アレルギーはありますか」 2) 薬の効能・用法・注意の説明を理解する。 「この薬は熱が高い時に飲んでください」 「一日3回食後に飲んでください」 3) 不明な点について質問する。	
読む・書く（漢字）	問診票に記入する	
文化庁カリキュラム 該当箇所	I 健全・安全に暮らす	

C クラス

第7回 ニュース

目標行動	テレビやインターネットから情報を得ることができる。 緊急情報や天気予報を理解することができる。 わからないことを人に聞いて対処することができる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① 教師から学習者に質問をする	「最近どんなニュースを見ましたか」 「どこで（どうやって）ニュースを知りますか」 テレビ／インターネット／新聞 「ニュースの内容は理解できますか」 教師はその時のニュースを、新聞かインターネットから用意しておく。 「ニュースから知りたい情報はなんですか」	興味・最近・大切
② 緊急情報を理解する	1) 録画した緊急地震速報を見る。 2) 画面に表示される言葉「関東で地震 強い揺れに警戒」の語彙を確認する。 3) 再度同じ映像を見て、できるだけ多くの情報を入手する。(震源地・津波の心配はあるか。震度はどのくらいか) 4) わからない時は質問できるようになる。	緊急地震速報 揺れ 警戒 震源地 震度 津波
③ 天気予報	1) 録音したラジオ、テレビ（音声のみ）の天気予報を聞いて各地の天気を聞きとる。 2) 台風情報、梅雨前線に関する語彙を確認する。 3) 警報や注意報を聞いて注意すべきことを考える	台風情報 大雨洪水警報／注意報 暴風警報／注意報 梅雨前線
④ 時事ニュース	1) 学習者が最近興味のあるニュースについて話す。 2) 録画した時事ニュースを見て、どんな内容か、そのニュースにたいしてどう思うか述べてもらう。	
⑤ まとめ	日本で生活していくために必要なニュースは何か、自分の国の気になるニュースは何かについてクラスで話し合う。	
読む・書く（漢字）	ニュースの文字を読む	
文化庁カリキュラム該当箇所	X 情報を収集・発信する	

C クラス

第8回 外食

目標行動	自分の希望通りの注文をすることができる。 注文や店員の対応に対して苦情を言うことができる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① レストランへ行った時の経験を聞く	「日本でどんなレストランに行ったことがありますか」 「困ったことはありましたか」 学習者に経験を話してもらう。	外食希望通り・注文 店員・苦情 レストラン・喫茶店 居酒屋・定食屋 禁煙席・喫煙席 相席 待ち時間
② レストランに入ったとき	「どんなことを聞かれましたか」 人数、タバコは吸うか、席はどこがよいか、相席でもいいか 「どんなことを聞きますか」 人数が多いが一緒に座れるか、禁煙席があるか、待ち時間はどのくらいかかるか。	
③ 注文するとき	メニューに書いてあるものがわからない場合は質問する。 食べられないものがあるときはリクエストによって変更してもらえるかどうかを尋ねる。	
④ 苦情を言う	頼んだ料理が遅い時 頼んだものと違う料理が来た時 他にどんな苦情を言ったことがあるか学習者に聞く。	
⑤ ロールプレイ	1) ロールプレイカードを使って話す。 2) 教室で発表する。 3) 語彙・文法などを教師と一緒に見直す。 4) 最後に全員のロールプレイを聞いた感想を話し合う。	
読む・書く（漢字）	メニューを読む	
文化庁カリキュラム 該当箇所	Ⅲ 消費活動を行う	

A 友達^{ともだち}とレストランに行きました。ちょうど昼^{ひる}の時間^{じかん}で、混^こんでいたので待^またなければなりません。うどんを食^たべたいのですが、ねぎが苦手^{にがて}です。
店^{みせ}の人^{ひと}にねぎを入れないように頼^{たの}んで注^{ちゅう}文^{もん}しました。でも運^{はこ}ばれて来^きたうどんにはねぎが入^{はい}っていました。店^{みせ}の人^{ひと}にもう一度抜^いけてくれるように言^いいます。お金^{かね}を払^{はら}う時^{とき}にちょっ和高^{たか}いと思^{おも}いました。店^{みせ}の人^{ひと}に間違^{まちが}いはないか聞^ききます。

B 店^{みせ}が混^こんでいるので15分^{ふん}くらい待^まってもらわなければなりません。席^{せき}は喫煙^{きつえん}席^{せき}が早^{はや}く座^{すわ}れます。うどんを注^{ちゅう}文^{もん}したお客^{きやく}さんがねぎを食^たべられないので抜^ぬいて欲^ほしいと頼^{たの}みました。忙^{いそが}しかったので忘^{わす}れていました。お客^{きやく}さんが帰^{かえ}るときに謝^{あやま}って、次回^{じかい}使^{つか}える割^{わり}引^び券^{けん}を渡^{わた}します。

C クラス

第9回 ディベート

目標行動	テーマを理解し自分の意見を述べるができる。 相手にわかるように自分の意見を説明できる。 相手の意見を理解し、反対の意見を述べるができる。 (違うグループの意見を聞き、まとめることができる。)	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
ディベートテーマ	ペット飼うなら犬か猫か 気持ちを伝えるなら手紙かメールか 小中学生の携帯は必要か 学校給食は必要か 学校に制服は必要か 週休2日を廃止すべきか サマertime制は必要か 救急車の有料化は必要か 環境保全と都市開発はどちらが良いか 年齢を引き下げるべきか (選挙権、車の免許取得、たばこ、お酒、パチンコ)	賛成・反対・意見・立場 飼う 携帯 給食 制服 廃止 有料化 環境保全・都市開発 選挙権 免許
① ディベート前の準備作業	1) テーマを決める 2) テーマに関する意見を話してもらい、グループ分けをする 3) 自分の意見を説明できるよう考える。 例) ペットを飼うなら犬か猫、どちらがいいですか。 犬派：名前を呼んだらこちらに来るし、指示を出したら応えてくれるから。 猫派：散歩に連れて行かなくてもいいから。	
② ディベート	1) 学習者は2つのグループにわかれて、それぞれの立場から意見を述べる。 2) それぞれの発表が終わったら他のグループへの質問、反対意見を述べる。 3) 教師は出た意見をホワイトボードに書く。 4) どちらの意見が良いか話し合っまとめる。 語彙・文法などを教師と一緒に見直す。	
③ 振り返り	ディベートを終えての難しさや、おもしろさなどの感想を述べる。	
読む・書く (漢字)	(特になし)	
文化庁カリキュラム該当箇所	(該当箇所なし)	

Cクラス

第10回 あなたなら・・・

目標行動	日常生活で困っていることや疑問に思っていることを相談することができる。 人の話を聞いてアドバイスができる。	
授業の流れ	会話例／活動例	語彙
① 教師から学習者に質問をする	「9時半に友達と待ち合わせをしました。あなたは何時に行きますか」 「あなたは何分くらいの遅刻なら許せますか」 意見を出し合って、アドバイスをする。	招待・結婚式・お葬式 引っ越し・お返し お正月
② 学習者の困っていることや疑問に思っていることを聞く	「日本で生活をしていて、困ったことやわからないこと、不思議に思ったことはありませんか」 例：日本人の家に招待された時 結婚式に招待された時 お葬式 引っ越し お返し お正月 年賀状・暑中見舞い お中元・お歳暮	
③ 話題を決めて話す	1) 学習者が今まで日本で経験したことなどを話してもらう。 2) それぞれの話が終わったら質問、意見を述べる。 3) 教師は出た意見をホワイトボードに書く。 4) 語彙・文法などを教師と一緒に見直す。 5) 最後に全員の発表を聞いた感想を話し合う。	
読む・書く（漢字）	（特になし）	
文化庁カリキュラム 該当箇所	Ⅶ 人とのかかわる Ⅷ 社会の一員となる	